

【構造転換期の地域メディアに求められる視野とは】

ローカル局の今とこれから

～地域性・公共性・収益性を再構築するために～

講師

京都産業大学 現代社会学部 教授／学長特命補佐 脇浜 紀子 氏
山陰中央テレビジョン放送株式会社
執行役員 地域創造ビジネス局長 兼 コンテンツ戦略部長 岡本 敦 氏日時 2025年7月18日(金) 午後1時～3時10分
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)
会場 紀尾井フォーラム 千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート1F

I. ローカルテレビの再構築～現状と本質から語ろう～

脇浜 紀子 氏【13:00～14:00】

伝送路が多様化し、人々のメディア消費が分散化するデジタル社会において、地域の電波という公共資源を預かるローカルテレビ局の存在意義を改めて問い直したい。まず、地上波民放テレビの現状と近年の制度変更を整理し、「兵庫県問題」を生み出す民放の構造的課題を指摘する。その上で、「総合編成ありき」「系列ありき」あるいは「ジャーナリズム=権力監視」といった思考の“前提脳”をいったん脇に置き、地域課題の共有と解決を第一義とするパブリック・サービス・メディア(PSM)という選択肢を提示する。また、デジタル空間の情報流通の健全性という観点からも、ローカルテレビが果たせる役割は大きく、具体的な事例を交えつつ、今後地域で展開可能な実践モデルを提案したい。

1. 「東京の大雪のニュース」はどれほど必要か？
日本の放送制度と系列構造の再確認
2. 地域ニュースは足りているのか？届いているのか？
「都市圏エアポケット」と兵庫県政の取材空白
3. 総合編成・系列ありき、の“前提脳”を脱ごう
伝送路の多様化と制度的発想の転換
4. パブリック・サービス・メディア(PSM)という選択肢
「ジャーナリズム=権力監視」だけではない公共性の形
5. 偽情報対策としての地域メディア
取材者・制作者の育成
6. 質疑応答／名刺交換

※本講演開催までの動向を踏まえ、内容を更新する可能性があります。

II. 地域放送局発のグローバルメディアビジネス 収益モデル再構築への挑戦！

岡本 敦 氏【14:10～15:10】

ローカル放送局はこれまで、地域に根ざした情報発信を強みとしてきましたが、近年のグローバル化・デジタル化、配信化の波の中で、“地域限定”の枠組みを超える可能性が急速に広がっています。

SNS や動画配信プラットフォームの浸透により、地元のコンテンツが国境を越え、多言語化され、海外の視聴者やビジネスパートナーとの接点を持つ時代が到来しています。本講演では、ローカル局がどのようにして海外市場と接続し、地域発の文化・情報・商品を“越境”させるかという視点で、具体的な事例や戦略、そして収益モデルの再構築についてお伝えします。

「地域発のグローバルメディアビジネス」は、今だからこそ現実的な選択肢として検討すべき局面にきています。

1. なぜ海外に挑戦するのか？その背景からみえる可能性とは
2. ニッチを攻めろ 巨大マーケット中国への挑戦
3. コンテンツでファンとつながる 中国のファンビジネスでマネタイズ
4. 地域資源を海外へ ローカル局が日本酒を中国に越境 EC 販売
5. 視聴率だけじゃない 山陰の15%ではなく 全国の1%をめざせ
6. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 脇浜 紀子(わきはま のりこ)氏

神戸生まれの神戸育ち、現在も神戸在住。読売テレビのアナウンサーとして「ズームイン！朝！！」の全国ネットキャスター、「ミヤネ屋」のレポーターなど、25 年間にわたり報道・情報番組等を担当。阪神淡路大震災の報道経験をきっかけにメディア研究をはじめ。2016 年末で早期退職し、2017 年 4 月より京都産業大学現代社会学部教授に着任。2000 年に南カリフォルニア大学修士号を、2010 年に大阪大学大学院国際公共政策博士号を取得。著書に「テレビ局がつぶれる日」(東洋経済新報社、2001)、「ローカルテレビの再構築～地域情報発信力強化の視点から」(日本評論社、2015)、「メディア・ローカルズム～地域ニュース・地域情報をどう支えるのか～」(中央経済社、2019、編著)。主な研究分野は地域情報・地域メディア。

PROFILE 岡本 敦(おかもと あつし)氏

早稲田大学第一文学部卒 鳥取県米子市生まれ
1999 年 山陰中央テレビ入社、報道部、制作部で取材や番組制作を行う
2013 年 東京支社営業部 及び 海外コンテンツ事業を立ち上げる
2022 年 株式会社ACD(東京)に兼務出向し、中国へのコンテンツビジネスを立ち上げる
2025 年～ 執行役員 地域創造ビジネス局長 兼コンテンツ戦略部長
中国への越境 EC ビジネスやコンテンツの国内外マネタイズプロジェクトを担当する

- 受講料 各受講方法 1名につき **33,880円(税込)**
同一のお申込フォームよりお申込の場合、2人目以降 **27,500円(税込)**
※会場又はライブ配信受講者様で、アーカイブ配信もご希望の場合は追加料金**11,000円(税込)**で承ります。
- お申込方法 二次元バーコード、又は FAX にてお申し込み下さい。
折り返し受講証、請求書、会場地図(会場受講のみ)をメール(PDF)にてお送りいたします。
お申込み後、3営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。
(セミナー会場にて受講される方は受講証画面を提示、もしくはプリントアウトしてご持参ください)
※お客様のご都合でキャンセルされる場合は、「**開催1週間前まで**」にお申し出下さい。
その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。
- お支払方法 請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いします。(遅れる場合はご相談下さい)

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。
可能な限り講義に盛り込んでいただきますので、お申し込み後、弊社からご連絡するメールにご返信ください。

■ライブ配信について

- <1>Zoom にてライブ配信致します。
- <2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ視聴用 URL と ID・PASS を開催前日までにお送り致しますので、開催日時に Zoom へご参加ください。

■アーカイブ配信について

- <1>開催日より3～5営業日後を目安に Vimeo にて配信致します。
- <2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができ次第、視聴用 URL をお送り致します。
- <3>動画は配信日より2週間、何度でもご都合の良い時間にご視聴頂けます。

7月18日(金)		「ローカル局の今とこれから」		申込日 月 日	
貴社名					
所在地	〒 ○印をお付けください(ご自宅・お勤め先)				
いずれかの□に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ✓をお入れ下さい。)					
☐ 会場受講		☐ ライブ配信		☐ アーカイブ配信	
フリカナ氏名			所属部署・役職		
TEL	() -	FAX	() -		
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。				

※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。

通信欄	
-----	--

●E-mail アドレス登録受付&ご紹介キャンペーン実施中[Amazon ギフト券(500円)を進呈いたします]

- ☐ セミナーへのお申込みではなく、メール配信登録のみの方は左記へ✓を入れて下さい。
※携帯アドレス、フリーメールアドレスは登録対象外となっております。
※メール配信登録をご希望の方をご紹介下さい！ご紹介いただいた方には Amazon ギフト券(500円)を進呈させていただきます。
※上記お申込フォームに、ご登録情報(貴社名・所在地・氏名・所属部署・役職・メールアドレス)をご記入下さい。

詳細・お申込はこちら↓■主催(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所

お申込み受付 FAX 03-5532-8851

〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4階
Tel:03-5532-8850/E-mail:info@ssk21.co.jp/URL:https://www.ssk21.co.jp



※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。

2 5 3 2 3 - D